



宇宙飛行士が やってきた!

ジャクサ わか た こう いち

JAXA 若田光一さんのミッション報告会を開催

JAXA(宇宙航空研究開発機構)宇宙飛行士の若田光一さんを招き、宇宙での体験報告などを通じて子どもたちにエネルギーや環境問題について考える機会を設けることを目的に、JAXA宇宙飛行士 若田光一ミッション報告会(琉球大学・西原町・西原町商工会主催、JAXA・西原町教育委員会共催)が、11月2日にさわふじ未来ホールなどで開催されました。この事業は主催の3団体が8月に締結した包括連携協定に基づいて実施された初めての事業です。

午前の部は、琉球大学教育学部が子どもを対象にした工作教室を開催しました。小学、中学、高校生に分かれ、バイオ燃料で車を走らせる実験や手作りの風車で発電する実験などに挑戦しました。



小学生は植物から生成されたバイオ燃料で紙製の車を走らせ、中学生は手作りの風車で発電した電気を蓄電、高校生は風車で発電した電気を測定して風車の形状を比較しました。



午後の部はいよいよ若田さんが登場。前半では主に、2013年11月から約6か月間にわたって国際宇宙ステーション(以下、ISSと表記)に滞在した際の活動報告を行いました。

若田さんは、ISSで行ったさまざまな実験やミッション活動を、写真や映像を使いながら説明。宇宙から見た沖縄は「美しい海、美しい島だった」と語りました。「宇宙では、飲み水は汗や尿を採取し、ろ過や分離などの処理をして再生利用している」という説明には、会場から驚きの声が上がりました。2014年3月には日本人で初めてISSの船長に就いており、その任務についても触れました。また、壇上から降りて会場の子どものもとに行き、質問にも応じました。「一番きつかったことは?」との質問には「雪山訓練の寒さはきつかったが、宇宙に行きたいという仕事をしたという目標があったので、つらい訓練も前向きに取り組めた」と笑顔で答えました。

午後の部の後半は、若田さんとともに琉球大学教育学部の清水洋一教授、工作教室に参加した小中高生5名が参加してトークセッションを開催。沖縄のエネルギー問題や環境問題などについての解説や意見交換を行いました。清水教授は「沖縄はエネルギー資源に乏しいため、エネルギー自給率がとても低い。省エネや自然エネルギーの利用促進を図ることが必要」と呼びかけました。

最後に若田さんは「ISSの中で二酸化炭素を除去する装置が壊れると死活問題。実は地球も同じで、そういう観点で地球は大きな宇宙船地球号。地球の環境を世界中の人たちと協力して守っていくことが、我々の義務だと思っている」と語りました。また参加した子どもたちに向けて「一人一人が、光り輝くための力を持っている。失敗することもあるだろうけど、興味や目標をしっかりと決めて、実現できるようがんばって」とメッセージを送りました。

若田さんの来町を記念して、若田さんとJAXAから琉球大学、西原町、西原町商工会の3団体に、記念の写真プレートが贈られました。



話題

「ゆりきやー」ライブで 笑顔の図書館10周年

西原町立図書館が8月で開館10周年を迎えたことを記念して、10月25日に「ゆりきやーのゆんたくライブ」が町立図書館で開催されました。

「ゆりきやー」はテレビ・ラジオやイベントでおなじみの、城間祐司さんと山田力也さんのお笑いコンビです。城間さんは西原町にお住まいで、頻りに町立図書館を利用すると語り、「この図書館ではよくことわざを調べます」と、図書館で考えたという方言のネタを披露しました。

イベントには町民など約100名が参加。終始、笑いに包まれたイベントを満喫しました。



城間祐司さん(左)と山田力也さん(右)



具志くん、山本さん、 新垣さんが九州の舞台へ

首里高校1年の具志尊くんは、9月に開催された平成26年度沖縄県高等学校新人体育大会水泳競技大会に出場。首里高のリレー選手として男子200mリレーで優勝、男子200mメドレーリレーで2位に輝きました。具志くんは、10月に熊本県で開催された平成26年度全九州高校選手権新人水泳競技大会に出場しました。

7月に開催された第34回新報児童オリンピックのバドミントン競技で、西原シャトル所属の新垣玲奈さん、山本優奈さん(ともに西原小6年)組が3位に入賞しました。新垣さんと山本さんは、10月に福岡県で開催された第31回全九州小学生バドミントン選手権大会に出場しました。

具志くん、新垣さん、山本さんには、西原町から県外派遣補助金が交付されました。



具志尊くん(中央)



新垣玲奈さん(右)と山本優奈さん(中央)

アメリカでの学びを報告

中学生が海外で視察学習やホームステイなどを体験する「西原町中学生海外短期留学派遣事業」で留学から帰国した生徒の報告会が、10月28日に西原町役場で行われました。

この事業は海外への留学を通して国際社会で活躍する青少年の育成を目指すもので、今年は8名の中学生がアメリカのシアトルで約1か月の短期留学を経験しました。

報告会では8名の生徒が一人ずつ報告を行い、さまざまな場所を訪問したことやホームステイ先の家族との交流など、楽しかった思い出を語りました。武内あいさん(西原東中3年)は語学の講義で「はじめのうちは先生の英語が聞き取れなかったが、だんだん分かるようになった。そのうち楽しく会話ができた」と報告し、川満彩滝さん(琉大附属中3年)は「帰国の日はシアトルから帰りたくなかった。次は一人でシアトルに行きたい」と振り返りました。



ウサギさんがかわいい! 西原東小でふれあい授業

学校で飼っている動物と触れ合い、動物愛護を学ぶ「動物ふれあい教室」が、10月23日に西原東小学校(藏根美智子校長)で実施されました。

この事業は、動物飼育を通じた情操教育の推進や生き物に対する関心を育む教育の充実を目的に、沖縄県動物愛護管理センターの呼びかけで行われているもので、西原東小の1年生が授業に参加しました。

授業でははじめに、獣医師がウサギの特徴などを説明。ウサギが好きな食べ物を考えたり、機械を使ってウサギの心臓音を聞いたりしました。その後には本物のウサギが登場すると、児童は恐る恐る体をなでたり、用意した餌を与えたりしてウサギとのふれあいを楽しみました。授業を見守った藏根校長は「ウサギは普段から学校で飼っているが、触れる機会が少ない。正しい知識をもとにウサギに触れ合える素晴らしい機会になった」と感想を語りました。

